

2018 ROTAX MAX FESTIVAL in SUZUKA CIRCUIT



開催サーキット:  SUZUKA CIRCUIT

JAF申請 クローズド格式



2018/9/12

本大会事務局

公式通知 No.7

Micro、MINI、Junior、MAX Masters、Senior の5クラス対象

外装品「フロントフェアリング」の位置規定に関して

注) CIK 公認 2 0 1 5 – 2 0 2 0 のフロントカウルを装着して競技を行います。

全日本選手権規定では、正しい装着状態でなかった場合、いかなる理由でも 1 0 秒加算のペナルティになりますが、2018 ROTAX MAX FESTIVAL においては、ペナルティの裁定を下記の通りとします。

① 競技中の接触による脱落や正しい装着位置からのずれが発生した場合

競技成績に5秒加算

注; 起因に関係なく対象車両はすべてペナルティとなります。

例: スタート前に何かの接触によってずれた... パルクフェルメ進入時に前車に接触... などでも対象です。

(競技終了後のパルクフェルメにて競技委員とドライバーにて確認後に決定)

② 上記の原因が、プッシングや幅寄せなどのドライバー危険行為が要因だった場合

競技成績に1~10秒の加算 ペナルティの度合いによって決定されます

※1ヒート内で、①、②同時に発生した車両の場合は、最高15秒加算となります。

ただし、悪質かつ危険な行為があった場合は、当該ヒート失格となる場合もあります。

【 詳細な判断基準は、ペナルティカタログを参照してください 】

③ 正しい位置からずれたフロントフェアリングを修正した場合

競技失格

注 1; 走行中に足などを使い、位置を修正しようとする行為

注 2; 停止した際に、位置を修正しようとする行為

注 3; パルクフェルメで、位置を修正しようとする行為

※ドライバー自身、メカニック(ピットクルー)、チーム員など、誰でも故意に修正すれば、その車両のドライバーは競技から失格となり、競技から除外されます。

(競技終了後のパルクフェルメにて競技委員とドライバーにて確認後に決定)

ペナルティを与えるジャッジに関しては、カメラやオフィシャル目視などの情報を十分確認し、競技長を含む競技委員で裁定します。 ※その後、ドライバーやエントラントに通達されます。

